

生涯学習を推進するにあたって…



【生涯学習とは…】

- 講演会を聞いて、すべてのことが生涯学習につながると感じた。
- 一生をかけて学び続けるものという意味で、生涯学習に取り組むことは意味があると思う。
- 今、興味があることを生涯続けていく。参加することに意義がある。

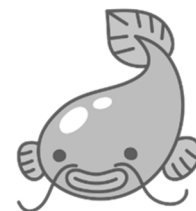
【まず、生涯学習について知ろう！】

- 生涯学習と言われてもピンとこない。今まで生涯学習について知る機会がなかった。
- 「生涯学習」は身近な言葉ではないので、生涯学習とは何かを知る必要がある。
- 若い世代の人が生涯学習について知る機会をつくる。



【ここが課題、これが必要！】

- 「学ぶ」ことへの動機づけ。
- 参加したくなる学習。参加したい学びがあるかどうかだと思う。
- 情報の発信。
- 知りたいから学びたいになる。今市民が知りたいことを考えるべき。
- この地で学び、活かしたいと思える環境を整えることが大切。
- 学び合う。教え合う。人のつながりを通した活動の広がり。
- 伝統を継続していくための学ぶ機会が必要。
- 交流の機会になるので、広報などで見たら積極的に参加することが大切。
- アンケート結果の分析等からニーズの高い講座を把握し、実施する。
- 市の職員とボランティアの協力が必要。
- 活動に参加してもらうために、蒲郡市の生涯学習のメニューをどう作っていくかが課題。
- 国の政策が縦割になっているので、全庁的に生涯学習政策を推進するのが難しい。



【生涯学習をしたいけれど…】

- 何かをしたいと思ってもどこへ問い合わせをしたらいいのかわからない。
- 学びたい気持ちがあるがスマートフォン、パソコンでできてしまう。
- 参加型の講座の対象者が少ない。



【ここを改善してほしい！】

- いつも使っている方たちが優先で、施設が気軽に使えない。市民会館も他市に比べ使いにくいので、学習成果を発表する場がないという声をよく聞く。
- 他市町村に比べて、公民館など利用制限が厳しい。
- Wi-Fi が施設に設置されていない。公民館に Wi-Fi をつないで、ZOOM 学習などができればよい。
- 市のやりたいこととボランティアのやりたいことにギャップがある。
- 科学館の講座は市外、県外からの参加者が多い。蒲郡市民の参加者がほしい。
- たくさんの人が参加することが大切で、参加者が偏らないようにしてほしい。
- 組に入っていないと広報が配布されないなど、転入者は情報を入手しづらい。
- それぞれの課が単独でやっている講座を合体してはどうか。

【こんな学習がしたい！】

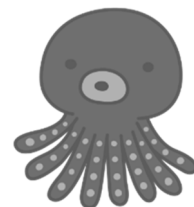


- まちづくりにつながる講座や生涯学習活動がほしい。
- 現役世代も無理なく参加できる環境があるとよい。
- 小・中学校との連携、地域との連携と生涯学習を結びつけた活動がほしい。
- 子育て世代も巻き込んだ活動がほしい。
- 子どもと親と一緒に楽しめて学べる企画があるといい。学びだと思えるものがあるといい。
- 子ども食堂がやれると良い。子どもだけではなく大人も利用できるように。
- 育休中に子どもと参加できて、地域のためになる活動があったらよい。
- 育休中に復職に向けたスキル向上のための学びがしたい。
- まちを活気づけられるような生涯学習の取り組みを市が提案し、年齢・性別を超えて一緒に活動ができると良い。
- 地域とのつながりを大切にしたい企画があればよい。出身が蒲郡でない人にとって、コミュニティを構築する場であつたら良い。



【こんな環境がほしい！】

- 人が集まるような魅力ある施設があり、大人から子どもまでが自然と楽しみ学べるとよい。
- 好奇心旺盛な方は情報に精通しているので、生涯学習に進んで参加できる。参加に消極的な方は活動場所に知り合いがいると参加のハードルが低くなると思う。
- 障がい軽度な方々は自身で行動できるので生涯学習への参加の機会は十分にあるが、周りに理解がある方がいると、もっと参加がしやすくなると思う。



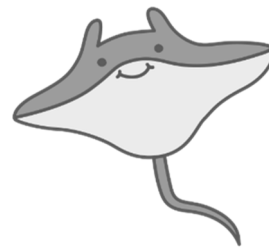
【公民館に思うこと】

- 指導者の立場でみると、どこの公民館も積極的に活動していると思う。
- 複数の公民館にお世話になっているが、現状は満足。
- 公民館は高齢者と若い世代をつなげる努力をしてほしい。魅力のある講座を考える必要がある。
- 公民館は市からの規制が多い。参加型の講座や魅力的な講座が必要。
- 世代をつなぐ公民館活動を。



【コロナ禍の今…】

- コロナ禍にあるので、リモートの方向へ。
- コロナ禍なので、室外でのイベントを実施してはどうか。
- コロナ禍で高齢者はひきこもりの生活をしている人が多いので、何とか改善させたい。
- 蒲郡市は新型コロナウイルス感染症にかかる活動制限ベルが厳しいと思う。



【その他】

- 市の方向性、目指すものがみえてこない。
- 地方創生に興味があるが、古いしがらみや慣習の是正をしていかないと実現できないと思う。
- 課題ごとにワークショップができると人が集まるのではないか。
- 子どもたちにとって、タブレットは弊害があるのではないか。道具としてはいいが、学ぼうとする動機づけがなくなる。高齢者も新しいものへ興味を持つことが大切。
- 高齢者の方との関わりがないから高齢者の気持ちを知る必要がある。お年寄りとの交流をもっと深めたい。
- 蒲郡市に引っ越してきて、地域とのかかわりを持つのに生涯学習を活用したい。
- まちづくりには受け身で興味なかった。
- 若者と高齢者の認識・意識に差がある。
- 地域によって、つながりの程度に差がある。

